

平成30年 第4回定例会

継続審査中の陳情文書表

平成30年陳情第1号

佐貫駅のホームと電車の隙間の早急な対策を
求める陳情書

継続審査中の陳情文書表

陳 情 名	佐貫駅のホームと電車の隙間の早急な対策を求める陳情書
受 理 番 号	平成 30 年陳情第 1 号
受 理 年 月 日	平成 30 年 8 月 28 日
陳 情 者 の 住 所 ・ 氏 名	龍ヶ崎市白羽 4 丁目 4 番地 18 新日本婦人の会 龍ヶ崎支部 支部長 本郷 千恵
付 託 委 員 会	環境生活委員会
<p>【陳情趣旨】</p> <p>佐貫駅のホームは立地条件により、カーブがあり、電車との隙間が大きくあいています。十数年前には電車から降りた男の人がスポッとその隙間に落ち、そのまま這い上がってきたのを見た時には大変びっくりしたものです。その後「こわいよね」「危ないよね」とあちこちで話は出るものの、「カーブがあるから無理なんじゃない」「ホームを移動させるには莫大なお金がかかる」と、なんら解決せず今日までできてしまいました。「ベビーカーで降車するときにとても怖い思いをした」と、若いお母さんから最近聞きました。</p> <p>調べてみますと全国各線多くのところでこの隙間落下問題には頭を悩ませ、対策を考えているようです。</p> <p>例えば阪急電鉄では点状ブロックなどを製造する会社とホーム線路側の先端部分と列車との空いた隙間を縮める部材「スキマモール」を共同開発し、2013年度から、駅に設置しました。この「スキマモール」は、先端が櫛状になっている樹脂製の部材です。2013年度の実績では列車とホームの隙間を最大で6.5cm縮めることができたそうです。</p> <p>事故がおき、報道されてから対策を考えるのではなく、一日も早くなんらかの方法で危険を回避して頂けることを強く要望いたします。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>1. 櫛状ゴム（スキマモール）などを設置し、早急に電車とホームの隙間を縮めるようJR東日本に強く働きかけて下さい。</p>	